

県、建協

施工計画書作成研修(上級編)

演習でレベルアップ

県と県建設業協会(藤田護会長)が主催する施工計画書作成研修(上級編・土木)が7日、鹿児島市の県建設センターであった。

おおむね4年以上の実務経験者を対象にしたもので、県内各地から16人が受講。各種のフロー図や工程表の作成方法などを演習し、レベルアップを図った。

同協会が県から受託している2024年度県建設産業担い手確保・育成・定着促進事業の一環。梅コンサルの梅木時文氏が講師を務めた。演習は、各自が持参したパソコンを使って、



Excelデータで入力。自ら経験した土木工事の設計書や図面、特記仕様書に基づいて、

工事概要から工程表、施工方法、環境対策まで作成し、押さえておくべきポイントを学んだ。

梅木氏は「日ごろソフトに慣れすぎていると、基本が身に付いていないことがある。工種と種別の把握もその一つ。いま一度、自身の知識を見つめ直し、レベルアップにつなげてほしい」と呼び掛けた。

持参したパソコンで演習する受講者。講師が見回りながら留意点などを指導した。鹿児島市の県建設センター